

# 文化財 だより

NO. 15

平成28年度

発行●太田市教育委員会 発行日●平成29年9月30日 編集●太田市教育委員会文化財課（群馬県太田市粕川町520 TEL 0276-20-7090 FAX 0276-52-6080）  
太田市教育委員会歴史施設課（群馬県太田市世良町3113-9 TEL 0276-52-2215 FAX 0276-52-2208）

## 文化振興事業「金山城の魅力再発見！」開催



参加された皆さんからは、3人のゲストのお人柄やお城に対する豊富な知識、情熱に対する驚きの声のほか、「毎日見ている、あるいは散策している金山が全国に誇れる素晴らしい山城だったことを初めて知った」といった意見も多数寄せられました。

太田市のシンボルであり、市民の心のふるさとでもある金山（金山城）は、あまりにも身近な存在であるがゆえ、時として、その魅力や価値に対する興味が希薄になってしまうことがあります。そこでガイダンス施設では、多くの市民の皆さんにあらためて金山城のことを再認識していただくべく、芸能界随一のお城通として知られる春風亭昇太師匠、東・西日本を代表する城郭研究者の中井均先生（滋賀県立大学）・齋藤慎一先生（江戸東京博物館）の3人のゲストをお招きして「金山城の魅力再発見！」イベントを開催しました。





## 「旧中島家住宅」として、国重要文化財に指定されました！

「旧中島家住宅」（中島知久平邸地域交流センター）は、飛行機研究所の創設者である中島知久平が両親のために生家の近くに築いた邸宅です。敷地面積約10,000㎡、延床面積約1,000㎡の大邸宅で、建物の南側には3,000㎡を超える広大な芝生の庭が広がります。

「旧中島家住宅」の特徴として、厳選された良材を使用していること、優れた匠の技が見られること、オール電化という、時代を先取りした設計思想があることなどがあります。我が国の昭和初期を代表する邸宅として、規模、意匠とも充実しており、価値が高く、敷地内には当時の生活様態を示す附属施設もよく保存されていることから、土地とともに保存を図るため、平成28年（2016）7月25日に国重要文化財に指定されました。

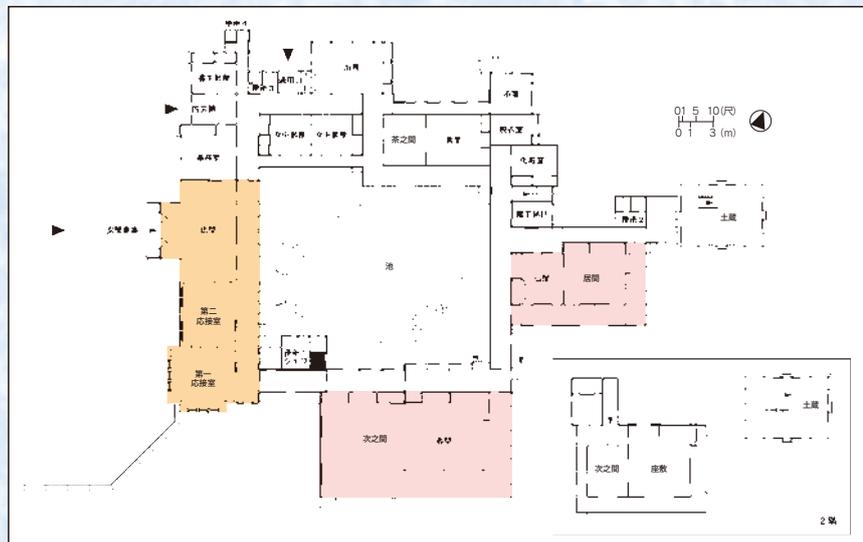
## 「旧中島家住宅」の概要

- 名称及び員数 旧中島家住宅 4棟  
おもや 主屋、どぞう 土蔵、うじがみしゃ 氏神社、せいもん 正門及び門衛所、もんえいじよ 土地  
つけたり 附 番頭部屋1棟、ふぞくや 附属屋1棟、そとべい 外堀1棟、ちゆうもん 中門及び堀1棟
- 所在地 群馬県太田市押切町1417番地
- 指定年月日 平成28年7月25日

設計は、宮内省内匠寮出身の中里清五郎が大正15年（1926）に開始し、昭和4年（1929）以降は伊藤藤一が引き継ぎました。主屋は昭和5年（1930）に完成し、翌年の昭和6年（1931）には敷地内の建物が概ね整いました。

主屋は、和洋の意匠を巧みに折衷した応接空間を持つ車寄部、雄大で気品ある内部空間を持つ客室部、利根川河川敷に設けた飛行場への眺望と日常生活のための二階建の居間部、厨房や食堂など日常生活のための食堂部という用途の異なる4つの建物を「口」の字状に配置して中庭を囲むという当時の大規模邸宅の特徴をよく示しています。

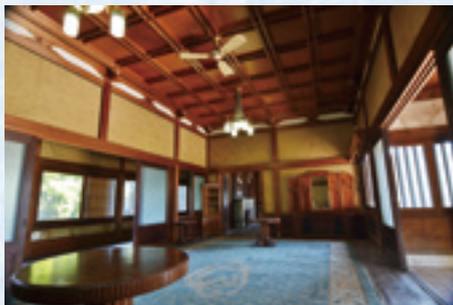
建設費は当時の金額で約100万円といわれていますが、現在の金額に換算することは、当時との価値基準の違いなどにより難しく、正確な金額はわかりません。しかし、同時期に完成した大阪城の復興天守の建設費が約47万円ですので、その金額がいかに莫大なものであったかを想像することができます。



主屋及び土蔵1-2階平面図



車寄部全景（改修前）



広間（改修前）



第一応接室（改修前）



第二応接室（改修前）



客室部全景（改修前）



居間部（改修前）

## 中島知久平邸地域交流センター

中島知久平邸地域交流センターは、平成26年6月にオープンし、旧中島家住宅の施設の一部を一般公開しております。

耐震補強等の整備を行った、車寄部の一部（車寄、広間、第一・第二応接室）は、室内に入つての見学ができます。



来場者への説明の様子

また、客室部及び居間部の一部、前庭等は外から見学することができます。

現在は、5名の人員により、来場された方への説明及び案内、広大な施設の維持管理等を行っております。

### 【来場者数の推移】

年度	来場者数
平成26年度	17,226
平成27年度	11,992
平成28年度	14,764

※平成26年6月開館



## 上野国新田郡家跡発掘調査

- 調査場所 太田市天良町7-4ほか
- 調査期間 平成28年9月1日～平成29年1月31日
- 調査面積 約740m<sup>2</sup>

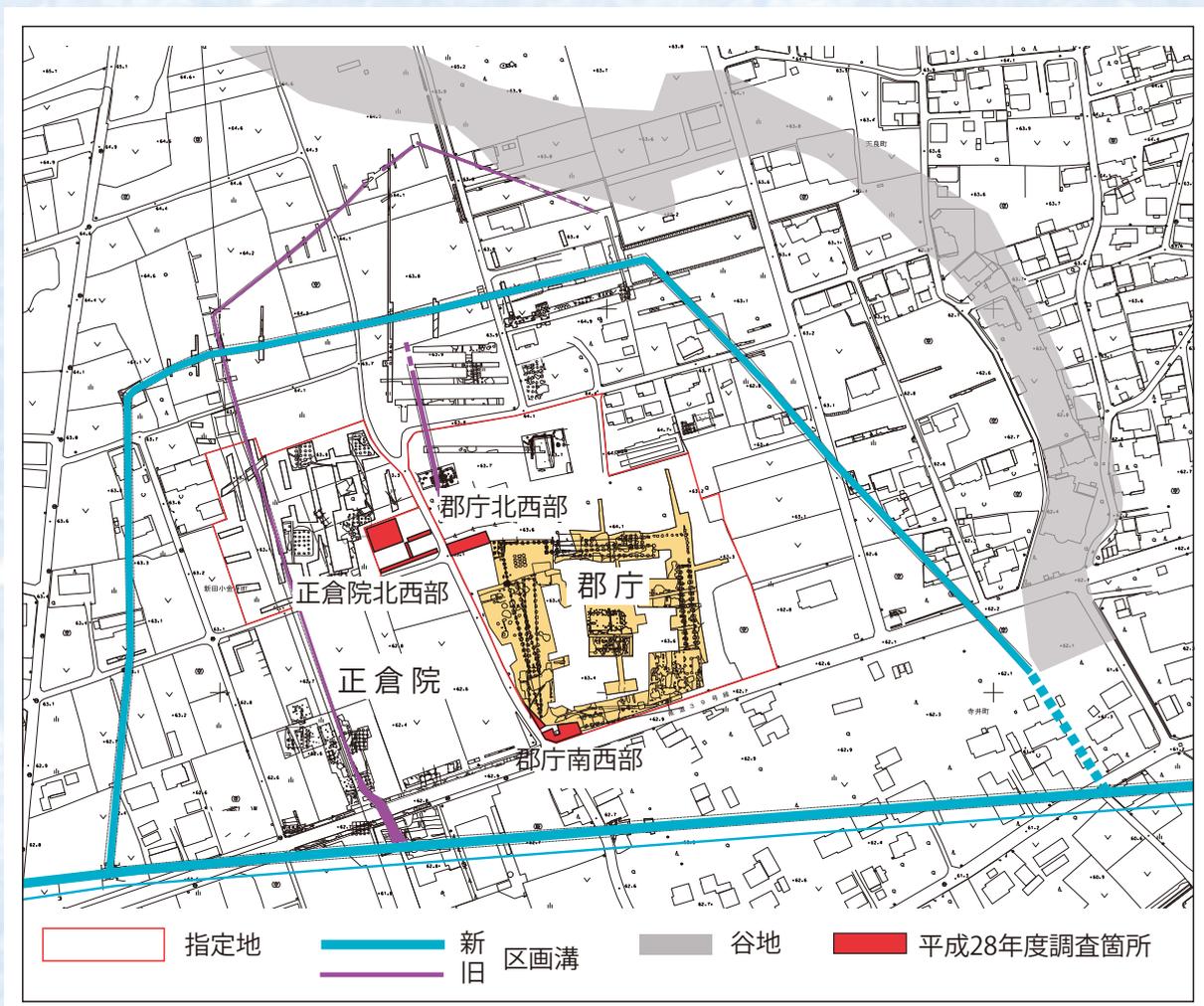
平成28年度の調査は、郡庁南西部と北西部、正倉院北西部で実施しました。

郡庁南西部では、郡庁の南西から南の縁辺を区画していた幅2.3～2.4mの溝を見つけたほか、郡庁の建物跡2棟分を確認しました。

郡庁北西部では、平成27年度の調査で確認された古い時期の区画溝の南の続きは確認されませんでした。平成26年度に把握された建物跡の西半分を確認することができました。この建物は東西長約12m、南北推定8.1m、5×3間の礎石建ちの倉庫で、税として納められた稲穀を保管するために建てられた正倉院と考えられます。

正倉院北西部では、平成20年度の調査で把握された正倉跡の南半部分などを確認したほか、新たに正倉の基礎1棟分を確認しました。新たに見つかった正倉跡は、南北約13.5m、東西約9.5mの総地業でした。「総地業」とは建物範囲の地面を全体的に掘り下げて、内部を土や石によってつき固めながら埋め戻す地盤改良工事です。さらに幅約1.9mの区画溝が見つかり、南北に延びていたことがわかりました。

今年度の調査では郡庁施設の移り変わりや、ある段階における郡庁の規模、正倉院における正倉配置の移り変わりを明らかにすることができました。



上野国新田郡家跡調査図



郡庁南西部で見つかった区画溝（南東から）



正倉院北西部で見つかった正倉跡（北から）

## シンポジウム 「いま解き明かされる新田郡家の実像」

- **ところ** 太田市宝泉行政センター（太田市西野谷町38-2）
- **とき** 平成29年3月5日（日）

市民の皆さんに古代新田郡の役所跡である新田郡家跡における発掘調査の成果等を知っていただくために、シンポジウムを開催しました。

太田市の新田郡家のほか、伊勢崎市の佐位郡家の基調報告の後、奈良文化財研究所名誉研究員の山中敏史氏に講演していただき、新田郡家と佐位郡家を評価していただきました。

65人の来場者の皆さんは、古代の郷土の話に耳を傾けていました。

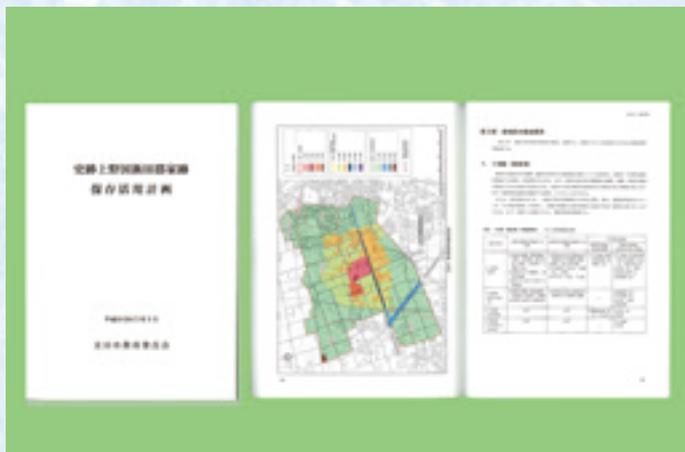


シンポジウム風景

## 史跡上野国新田郡家跡保存活用計画を策定しました

古代新田郡の役所である史跡上野国新田郡家跡における現状や課題、課題を解決するための保存管理や活用の方針についてまとめた「史跡上野国新田郡家跡保存活用計画」を策定しました。

今後はこの計画に従って、関係法令や諸計画と調整を図りつつ、地域の皆さんにご理解とご協力をいただきながら、史跡の保存管理と有効活用に取り組んでいきたいと考えています。



史跡上野国新田郡家跡保存活用計画



かな やま しょう あと

# 史跡 金山城跡 の最新情報

- 調査場所 太田市金山町地内
- 調査期間 平成28年10月11日～平成29年3月28日
- 調査面積 162㎡
- 調査の概要

今回の調査は、過年度の調査によって明らかとなった排水路が、どこを、どのようにつながって流れているのかを確認するために、3箇所のトレンチを設定して調査を行いました（図1）。

調査の結果、大手道虎口に見られる通路脇の側溝（排水路）は、暗渠となって曲輪の下へ潜り込み、曲輪西端の石積み基部で再び開渠となって流下していました。この排水路は、岩盤（凝灰岩）を掘り込んで構築されています。深さが一般とは異なる規模を



写1. 深く掘り込んだ排水路（28-1トレンチ）

有し、南側では6m、北側では1.6mも岩盤を掘り込んでいます。この高い岩盤壁は、単なる排水路の側壁ではなく、南側の曲輪と大手道を隔てる豎堀になっており、曲輪や大手道に侵入する敵を阻む防御機能を兼ね備えていました（写1）。

28-1トレンチの西（下流）に設けた28-3トレンチでは、石積み排水路の脇（北側）に、石積みされた溜井遺構が発見されました（3号溜井）。平成26年度の調査で2基の溜井遺構が見つかったので、3つ目の溜井遺構となります。この3号溜井は、平面形が、南北1.8m、東西1.7mの方形を呈しており、確認面からの深さは1.8mありました（写2）。岩盤を0.8m削り込み、底面を平坦に仕上げた後に、北壁と東壁に石積みを行っている遺構です。

また、北壁石積み西端は石積で凹部を形成し、東壁石積み南端は石積と削り取られた岩盤で凹部を形成しており、それぞれの凹部からは板材が検出されました。板材はアカマツで、厚さ3cm×幅23cm（写3）、所により2段分が腐らずに残っていました。

金山城のしみ水や表流水は、排水路に集めてすべて流下させてしまうのではなく、一部は溜井に導水して貯水し、有効に活用していることが明確となりました。



図1. 平成28年度調査区の位置図



写2. 3号溜井遺構（28-3トレンチ）西から



写3. 3号溜井遺構 南西隅部の板材の検出状況（28-3トレンチ）北東から



## 史跡金山城跡 現地説明会

- **ところ** 金山城跡発掘調査現場
- **と き** 平成29年2月11日（土）
- **参加者** 284人

市民の皆さんに金山城跡の発掘調査成果を見学していただくために現地説明会を開催しました。

今回の調査では、岩盤を6mも掘り下げた排水路や溜井が確認されたことで、参加者の皆さんには山城において排水がいかに関重要なことであったかを知っていただくことができました。



説明会の様子

## 金山城保存会

金山城保存会では、金山城を訪れる多くの方々にすがすがしい気持ちで見学して頂けるよう、毎月第4金・土曜日の午前中に史跡の草刈りや清掃活動を中心とした環境美化活動等を行っています。

また、希望する来訪者（事前申し込み）に対して、史跡整備地内を案内するボランティアガイドを実施し、多くの方に金山の歴史や魅力を日々伝えています。平成28年度は27回、のべ1,088人の方をご案内したほか、3月25日に春風亭昇太師匠、中井均先生、齋藤慎一先生をお迎えして開催した「金山城の魅力再発見！」イベントに金山城を守る足軽武者として参加しました。



## 史跡新田荘遺跡江田館跡 整理作業

- **作業期間** 平成28年11月22日～平成29年3月10日
- **作業内容** 江田館跡は、遺跡の内容確認調査を平成17年度に着手し、これまでに多くの調査成果を得ることが出来ました。そこで、平成29年度の報告書の刊行を目指し、平成28年度から整理作業に着手しました。平成28年は、これまでの確認調査で出土した遺物の接合・復元、遺物実測作業を中心に整理を行うとともに、これまでの調査で検出した掘立柱建物跡群の変遷などについて検討作業も併せて行いました。



## 史跡環境整備

文化財課では、市内の史跡等を管理、整備しています。特に夏場は雑草の伸びが早く、暑さもあり大変です。「草刈隊」が一丸となって、一年を通して見学しやすい史跡環境が維持できるよう努めています。



寺山古墳▶

## 説明板の設置

城西町にある蛇川親水公園近くにはかつてオクマン山古墳があり、市指定重要文化財の鷹匠埴輪、飾り馬埴輪が出土しています。今年度の事業では、蛇川親水公園内にオクマン山古墳の説明板を設置しました。



説明板▶

## 文化財模擬火災訓練

- ところ 大光院（金山町）
- とき 平成29年1月22日（日）  
午前8時～

昭和24年1月26日、国宝の法隆寺金堂壁画が焼失したため、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動が実施されています。太田市でも、毎年「文化財模擬火災訓練」を実施しています。

今年度の訓練は、金山町の大光院で実施しました。大光院は「大光院の吉祥門」が市の重要文化財に指定されています。訓練は開山堂から出火したという想定で開始され、消防本部・消防団・関係者の協力のもと、初期消火作業、通報、一斉放水などの訓練が行われました。



消防団が駆けつける様子



一斉放水の様子



# おわたんの 史跡探検 スタンプラリー

太田市に数多く存在する貴重な歴史遺産を、正しく理解・認識し、より身近に感じていただくため、平成28年度も「おわたんの史跡探検スタンプラリー」を実施いたしました。

小・中学校が夏休みとなる平成28年7月21日から8月31日を実施期間として、市内の文化財所在地や各資料館など合計26箇所にスタンプを設置しました。参加者はガイドマップに載っている地図をたよりに、夏の暑い盛りの中、スタンプを求めて市内各所を巡りました。

スタンプを設置した全26箇所のうち20箇所以上を巡ると修了認定されますが、今回は過去最多の4,313人の参加申込があり、その内の2,920人が修了認定されました。

修了者には記念品として、文化財課のマスコットキャラクター「ぶじんくん（国宝桂甲武人埴輪）」と「やよいさん（弥生時代の女性）」のイラストを織りこんだマフラータオルが贈呈されました。

また日時・場所を限定して説明会（市内3箇所）を実施しました。説明会は4日間の延べ人数が2,000人を上回り、修了者（2箇所以上）も1,168人でした。

参加者の皆さんには、スタンプラリーを通して太田の歴史を学ぶとともに、家族や友達と一緒に楽しい時間を過ごすことができたのではないかと思います。



記念品（キャラクター入りマフラータオル）



ガイドマップとスタンプ帳



説明会修了記念缶バッジ



スタンプラリーの様子（金山城跡）



スタンプラリー説明会の様子（長楽寺）



## さざえ堂保存修理事業

群馬県指定重要文化財さざえ堂（太田市東今泉町曹源寺）では、傾いた建物を建て起こして耐震補強を行う保存修理工事が、平成29年10月末の完成をめどに行われています。

平成28年度は、主に傾いた建物の建て起こし工事を行い、それに伴って倒れが大きくなった下屋の基礎の是正工事を行いました。

また、柱を置いていた礎石の下の基礎構造を知るために、土間部分の発掘調査を行いました。

平成29年度は屋根瓦の復旧等を行い、平成29年10月末の完成を予定しています。

※工事期間中は堂内拝観はできません。ご理解いただきますようお願いいたします。



工事前のさざえ堂



傾斜により隙間があいた建具

## その他史跡等管理（樹木伐採等）

文化財課では、市内に点在する史跡や天然記念物の管理を行っており、危険な枝の剪定や古墳内の枯枝の撤去作業、スズメバチの巣を駆除するなど、訪れていただいた皆様に危険がないよう管理しております。

平成28年度には、市場の大ケヤキ剪定業務、樹木診断、市場稲荷山古墳の枯枝撤去、朝子塚古墳のスズメバチ駆除を行いました。



市場稲荷山古墳の枯枝伐採作業



市場の大ケヤキ樹木診断



しもじゆく い せきしゆつ ど ひん く にじゆうようぶん か ざい

## 「下宿遺跡出土品」 国重要文化財に

太田市東金井町の下宿遺跡で出土した縄文時代の土器と石器が、平成29年9月15日に国の重要文化財に指定されました。



復元された  
爪形文土器と  
無文土器

下宿遺跡は、金山丘陵の東で、太田桐生インターの約500m南に位置しています。

昭和59、61、62年に、ほ場整備事業と工業団地造成事業に伴って発掘調査を行ったところ、縄文時代草創期（約13,000年前）の土坑9基などが発見され、これらに伴う土器や石器が数多く出土しました。

縄文時代草創期は、人々が狩りなどで移動生活を繰り返していた旧石器時代に続く時代で、この頃に土器が出現し、住居が造られ始めたと考えられています。



下宿遺跡を特徴づけるのは縄文時代草創期の「爪形文土器」とこれに伴う石器です。

これらは当地域の縄文時代草創期の様子がわかる資料であり、特に100号土坑から出土した深鉢形土器は、ほぼ完全な形の土器です。底部の尖端は、乳頭状に尖り、外面には全面にハの字状に爪形文が施されています。

爪形文土器の出土数は全国的にみても極めて少なく、さらにその多くが小破片のみであることから、下宿遺跡の土器は国内でも数少ない、器の形が復元された大変貴重な資料です。

石器は、小形の三角形の<sup>やじり</sup>鏃、長脚鏃を含む<sup>せきぞく</sup>石鏃41点、<sup>りゅうようがた</sup>柳葉形の<sup>せんとうき</sup>尖頭器（槍先）6点、<sup>そうまき</sup>搔器（皮製品を作るときに使う道具）10点、<sup>たたきいし</sup>敲石2点などがあります。これらはいずれも爪形文土器および無文土器が出土した土坑から出土し、爪形文土器などと同時期の石器です。当時の狩りの様子を知る資料として重要です。

名称：群馬県下宿遺跡出土品  
員数：深鉢形土器 6点、石器 61点、  
附 土器片 30点、石核・剥片 30点



今回指定された縄文時代草創期の主な石器



ほりのうちいせき

## 堀之内遺跡（公共開発）

- 調査場所 太田市西野谷町地内
- 調査期間 平成28年5月11日～7月7日
- 調査面積 約650㎡

西部幹線道路の開発に伴い、発掘調査を実施しました。その結果、住居跡15軒、掘立柱建物跡6棟、柱列1条、溝7条、井戸1基、竪穴遺構1基、土坑32基、ピット164基が確認されました。

住居跡のうち1軒は、縄文時代中期のもので、入口の埋甕うめがめなどが良好な形で残っていました。なお、残りの14軒は、奈良・平安時代のものでした。

掘立柱建物跡は、平安時代のもと考えられます。

他に、古墳時代前期の水路や墨で「中」の字が書かれた平安時代の須恵器を出土した溝が特徴的な遺構でした。

調査当初は、「堀之内」の地名があることから、中世の武士の館があるものと考えられましたが、それに関わる遺構はみられませんでした。ただし、確認された住居跡や溝をはじめとする遺構は、当地の歴史を考えるうえで、貴重な資料です。



掘立柱建物跡（西から）



縄文時代の住居跡から出土した埋甕

はまちょういせき

## 浜町遺跡（公共開発）

- 調査場所 太田市本町地内
- 調査期間 平成28年6月22日～9月29日
- 調査面積 456㎡

太田駅周辺土地区画整理事業の道路部分の発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代前期～後期の住居跡15軒、井戸6基、土坑18基、ピット8基、平安時代の住居跡5軒、土坑5基、ピット1基、近世の土坑1基、時期不明の土坑13基などが確認されました。また、古墳時代～平安時代の土器片等が多数出土しました。このようなことから、この地域では古墳時代から集落が形成されていたことがわかりました。

特徴的なことは、西側調査区で、粘土を採取したとみられる土坑群が確認されたことです。



西側調査区全景（西から）



きたのしょういせき

## 北之庄遺跡（公共開発）

- 調査場所 太田市由良町地内
- 調査期間 平成28年5月18日～6月20日
- 調査面積 約189㎡

宝泉小学校の給食室の建て替えに伴い発掘調査を実施しました。その結果、方形周溝墓2基、住居跡1軒、土坑7基が確認されました。方形周溝墓は周溝の底面で古墳時代前期の土器片が多量に出土したことから、この時期の築造と考えられます。敷地内で実施した過去の発掘調査においても方形周溝墓が確認されていることから、この地域は古墳時代前期に墓域だったことがうかがえます。また、調査区南東隅においてピットが円形にまわり、周囲から多量の縄文時代中期の土器片が出土しました。このことから、ピットは縄文時代中期の住居の柱穴と考えられます。



調査区（南から）

とうぶちくいせきぐん

## 東部地区遺跡群（公共開発）

- 調査場所 太田市堀口町地内
- 調査期間 平成28年9月26日～11月16日
- 調査面積 約440㎡

尾島東部土地区画整理事業の道路造成に伴い発掘調査を実施しました。その結果、住居跡2軒、掘立柱建物跡4棟、堀1条、溝3条、土坑37基、ピット101基が確認されました。2軒の住居跡は共に東側にカマドを造り付けた平安時代の遺構で、極めて近い位置関係にあります。東調査区で確認された堀は深さ1.5mに及ぶ断面V字形のもので、いわゆる薬研堀<sup>やげんぼり</sup>となっています。過去に西側の道路部分で発掘調査を行った際に同様のものが確認されており、同じ性格の堀と考えられます。



東調査区（東から）

かみいせき てらうらいせき

## 上遺跡、寺裏遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市烏山上町地内
- 調査期間 平成29年1月25日～3月1日
- 調査面積 約260㎡

建売分譲住宅建設に伴い、発掘調査を実施しました。調査地は、二つの遺跡にまたがっています。調査の結果、竪穴住居跡1軒、井戸2基、土坑19基、ピット15基、溝1条が確認されました。また、古墳時代・平安時代の土師器・須恵器が出土しました。このことから、古墳時代から集落が形成されていたことが分かりました。

井戸からは、古墳時代後期の土師器壺・甕がまとまって出土し、年代が明らかになりました。



1号住居跡（南東から）



## 平成28年度埋蔵文化財最新情報展

- ところ 史跡金山城跡ガイダンス施設・金山地域交流センター ギャラリー
- とき 平成28年12月20日（火）～平成29年3月12日（日）
- 観覧者 4,226人

平成28年度の埋蔵文化財最新情報展は、<sup>あいば かんのみきょうづか</sup>相場観音経塚の遺物整理作業が終了し、発掘調査報告書が刊行されたことを受け、「経石 - 石に託した人々の想い -」というテーマで行いました。

相場観音経塚の発掘調査は、平成15年度に太田市矢場町の恵林寺の南東にあった観音堂の移築に伴って行われました。その結果、江戸時代中期ごろの経塚から、およそ19万点にも及ぶ、お経が書かれた石が発見されました。

会場では、「<sup>みょうほうれんげきょう</sup>妙法蓮華経」や「<sup>だいほんにやはらみつたきょう</sup>大般若波羅蜜多経」といった経典を書き写したものを中心に、経塚から同時に出土した陶器の皿・甕などを展示しました。



経石



陶器の皿・甕

最新情報展ポスター

## 出土遺物整理作業

文化財課では、これまで実施した発掘調査の成果を公開するために、出土した遺物の接合や復元、実測、写真撮影等の整理作業を行い、資料化を進めています。平成28年度は、世良田地区のほ場整備をはじめ、駒形神社埴輪竈跡、岩松千歳2遺跡、平成27年度太田市内遺跡などの各調査の整理作業を実施しました。

平成28年度には、平成27年度の各種開発に伴う確認調査をまとめた『太田市内遺跡12』と『世良田地区（ほ場整備）発掘調査報告書』を刊行しました。



平成28年度刊行した報告書



整理作業風景



## 平成28年度 確認調査一覧表

No	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因
1	田谷遺跡、飯塚糸里制水田跡	東矢島町	H28.4	民間
2	北之庄遺跡	由良町	H28.4	市
3	西野西遺跡	藪塚町	H28.4	民間
4	浜町遺跡	本町	H28.4	市
5	下田島遺跡	下田島町	H28.4	市
6	長福寺遺跡	下田島町	H28.4	市
7	下田島遺跡	下田島町	H28.5	民間
8	西田島遺跡	下田島町	H28.5	民間
9	賀茂遺跡	龍舞町	H28.5	民間
10	東部地区遺跡群	堀口町	H28.5	民間
11	上遺跡	鳥山上町	H28.6	民間
12	萩原窯跡、萩原遺跡	吉沢町	H28.7	民間
13	登戸遺跡	新田上江田町	H28.7	民間
14	新田館跡、世良田環濠集落	世良田町	H28.7	民間
15	雉子ノ尾遺跡	上小林町	H28.7	民間
16	細谷古墳群	細谷町	H28.7	民間
17	上宿遺跡	矢田掘町	H28.7	民間
18	新堀遺跡	台之郷町	H28.7	民間
19	小金井馬場南館跡	新田小金井町	H28.7	民間
20	東部地区遺跡群	堀口町	H28.7	組合
21	下原遺跡	新道町	H28.7	民間
22	下原遺跡	新道町	H28.7	民間
23	下原遺跡	新道町	H28.7	民間
24	馬場遺跡	新田上田中町	H28.8	民間
25	西矢島遺跡	西矢島町	H28.8	民間
26	北之庄遺跡	由良町	H28.8	民間
27	石神遺跡	龍舞町	H28.8	民間
28	世良田環濠集落	世良田町	H28.9	県

No	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因
29	妙參寺沼遺跡	新田大根町	H28.9	民間
30	西矢島遺跡	西矢島町	H28.9	民間
31	藤阿久古墳群	藤阿久町	H28.9	民間
32	F P泥流下遺跡群	亀岡町	H28.10	民間
33	史跡新田莊遺跡総持寺地内	世良田町	H28.10	民間
34	長楽寺遺跡	世良田町	H28.10	民間
35	新堀遺跡	台之郷町	H28.10	民間
36	F P泥流下遺跡群	亀岡町	H28.10	民間
37	上泉開戸遺跡、鎧着遺跡	鳥山中町	H28.10	民間
38	延享割遺跡	泉町	H28.11	民間
39	寺裏遺跡、上遺跡、鳥山寺中遺跡	鳥山上町	H28.11	民間
40	北之庄遺跡	由良町	H28.11	民間
41	三島遺跡	藪塚町	H28.12	民間
42	内ヶ島南田遺跡	飯塚町	H28.12	民間
43	目塚遺跡	東長岡町	H28.12	民間
44	鶴生田古墳群	鶴生田町	H28.12	市
45	梁場遺跡	高林南町	H29.1	民間
46	楽前遺跡	矢田掘町	H29.1	民間
47	一町田・堀之内遺跡	新田木崎町	H29.1	民間
48	由良の砦跡	由良町	H29.2	民間
49	天良七堂遺跡	新田小金井町	H29.2	民間
50	道灌谷戸遺跡	下浜田町	H29.2	民間
51	由良天王遺跡	由良町	H29.2	民間
52	東部地区遺跡群	岩松町	H29.2	組合
53	落内遺跡	吉沢町	H29.2	民間
54	御手洗遺跡	細谷町	H29.2	民間
55	久保畑遺跡	寺井町	H29.3	民間

### 開発に係る調整 平成28年度 事前照合・協議件数等

	公共事業	民間開発	合計
事前照合・協議	49件	2297件	2346件
本発掘調査	3件	5件	8件
確認・試掘調査	6件	49件	55件
学術調査	2件	-	2件
立会調査	22件	11件	33件
慎重工事	5件	603件	608件
93条届出		615件	615件
94条通知	29件		29件
確認・試掘調査面積	295㎡	4578㎡	4873㎡
本調査面積	1296㎡	867㎡	2163㎡
学術調査面積	902㎡	-	902㎡



# 新田荘歴史資料館

## ゴールデンウィーク・夏休み企画 「キーホルダー作り」

- と き 平成28年4月29日（金）～5月8日（日）
  - 参加者 111人
  - と き 平成28年7月30日（土）～8月28日（日）
  - 参加者 448人
- プラ板を使い、オリジナルイラストを写し取り、キーホルダーを作りました。



## サマースクール講演会 「上野の国衆と小田原合戦への道」

- と き 平成28年8月21日（日）
- 講 師 黒田 基樹氏（駿河台大学法学部教授）
- 参加者 75人



黒田 基樹氏

## 平成28年度「長楽寺展」 ～館収蔵品を中心に～

- と き 平成28年10月28日（金）～12月18日（日）
  - 入館者 1,570人
- 長楽寺は、新田氏の祖新田義重の子徳川義季が、承久3年（1221）に日本に臨済宗を伝えた栄西の高弟栄朝を招いて創建した寺です。
- 新田徳川氏を先祖であるとする徳川家は、長楽寺を先祖の建てた寺として庇護し、3代将軍家光の日光東照宮大改修の時、奥社拝殿を長楽寺境内に移築し、東照宮を勧請します。また、宗派を天台宗に改宗し、長楽寺伽藍の整備を行いました。
- 今回は、長楽寺・世良田東照宮に伝わる宝物の中から、資料館の収蔵品を中心に展示し、中近世に繁栄した長楽寺の歴史と文化の一端に触れることを目的として開催しました。



長楽寺展チラシ



展示の様子

## ☆関連講演会 「新田氏『武家棟梁への道』」

- と き 平成28年11月20日（日）
- 講 師 田中 大喜氏（国立歴史民俗博物館准教授）
- 参加人数 90人

## ☆関連行事 「ガイドと歩く紅葉の歴史公園」

- と き 平成28年11月25日（金）（午前・午後開催）
- 参加人数 20人



田中 大喜氏



説明会の様子



# 縁切寺満徳寺資料館

## 縁切寺満徳寺資料館講演会 「縁切寺川柳をたのしむ」

- とき 平成28年6月26日（日）午後2時から
- 講師 高木 侃氏（縁切寺満徳寺資料館名誉館長）
- 参加者 11人

縁切寺東慶寺を詠んだ「松ヶ岡川柳」の法制史的視点からの解釈や、満徳寺縁切り寺法との比較などを通じ、川柳のもつ楽しさについてご講演をいただきました。



講演する高木名誉館長

## 特別展「江戸の道德教育Ⅱ－地域社会と人づくり－」

- とき 平成28年7月16日（土）～9月11日（日）
  - 入館者 3,753人
- 今回の特別展は、法政大学講師で学術博士でもある小泉吉永氏監修のもと、「江戸の道德教育Ⅱ－地域社会と人づくり－」と題して、江戸時代の社会教育的側面に着目し、当時の地域社会における人づくりをテーマとした展示を行いました。



展示の様子（「春興手習出精双六」）

【特別講演会「江戸の人づくり－地域社会の教育ネットワーク－」】

- とき 平成28年7月17日（日）午後2時から
- 講師 小泉 吉永氏（法政大学講師）
- 参加者 29人

江戸時代の往来物研究の第一人者で、この特別展を監修していただいている小泉先生から、江戸時代における地域社会の教育ネットワークについてご講演をいただきました。



特別講演会の様子

## 第30回三くだり半企画展 「三くだり半の内容Ⅰ－本文後半・再婚許可文言をめぐって－」

- とき 平成28年10月22日（土）～12月11日（日）
  - 入館者 1,388人
- 離縁状の本文後半における再婚許可文言のなかの再婚制限（禁止）条項は、人・場所・期間などがその対象とされました。そうした実例等が記された、興味深いきざまな離縁状を展示しました。

【講演会「三くだり半の内容Ⅰ－本文後半・再婚許可文言をめぐって－」】

- とき 平成28年10月30日（日）午後2時から
- 講師 高木 侃氏（縁切寺満徳寺資料館名誉館長）
- 参加者 14人



展示の様子



## 伝統文化講座「琵琶演奏」及び大衆文化講座「落語」と「音曲バラエティ」

### ★伝統文化講座「琵琶演奏」他★

- と き 平成28年10月14日（金）  
午後6時30分から
- 演 者 琵琶・琴・語り 仲林 光子氏  
笛 仲林 利恵氏  
語り すなが 寿々女氏

#### ●参加者 65人

琵琶奏者 仲林光子氏と、その娘 利恵氏、そして語りの すなが寿々女氏をお招きし、臨場感あふれる琵琶・琴と語りによる「一の谷軍記より」や、琵琶と語り・笛による「敦盛最期」、また光子氏の琴、利恵氏の笛の独奏等を、縁切寺満徳寺復元本堂内にて開催しました。



笛 仲林 利恵氏、琵琶・語り 仲林 光子氏

### ★大衆文化講座「落語」他★

- と き 平成28年10月15日（土）  
午後1時30分から
- 演 者 落語 柳家 はん治師匠  
落語 柳家 小はぜさん  
音曲バラエティ 東京ガールズ

#### ●参加者 41人

落語家 柳家はん治師匠・柳家小はぜさん及び音曲バラエティの東京ガールズをお招きし、縁切寺満徳寺復元本堂内にて、笑いの中にも奥行きを感じる「落語」、及び楽しく愉快的な「音曲バラエティ」を実施しました。



落語家 柳家 はん治師匠



音曲バラエティ 東京ガールズ

## 藪塚本町歴史民俗資料館

### 「石田川式土器」の展示の充実

北関東地域における古墳時代前期の土器形式の指標となった、昭和27年発掘調査で出土した、石田川遺跡出土の土器群（甕・高坏・鉢・埴・器台など）を新たに展示しました。





## 高山彦九郎記念館

### 企画展 「日光例幣使道 木崎宿の役割 -彦九郎と旅-」

- とき 平成28年3月19日（土）～6月12日（日）
- 入館者 806人

高山彦九郎は旅の思想家といわれますが、この企画展では、その郷里に近い日光例幣使道木崎宿の旅籠林屋を取り上げ、往時の脇往還にくりひろげられた、旅人と宿の役割に関連する資料を展示。これらの資料から彦九郎の「旅」に思いをはせるとともに、絹産業を背景として繁栄した近世太田市域の歴史と文化の一端に触れることのできる展示としました。

#### 【企画展ギャラリートーク】

- とき 平成28年5月29日（日）午後2時から
- 内容 学芸員による展示説明
- 参加者 20人



ギャラリートークの様子

### 講演会「彦九郎、北関東の旅」

- とき 平成28年5月22日（日）午後2時から
- 演題 「彦九郎、北関東の旅」
- 講師 勝又 基氏（明星大学教授）
- ところ 史跡金山城跡ガイダンス施設
- 参加者 91人

高山彦九郎は、30年間にわたり日本国中を歩き、生涯に数多の日記を遺し、克明に旅先のことを記録しました。今回はその中から北関東の旅にしぼって、特に彦九郎が孝子良民を訪ねた記録を中心にご講演をいただきました。



講演会の様子

### 企画展 「高山彦九郎日記『忍山湯旅の記』を廻る」

- とき 平成29年3月18日（土）～9月3日（日）
- 入館者 82人（3/31まで）

「忍山湯旅の記」は、安永4年（1775）、高山彦九郎が桐生の梅田にあった忍山の湯に湯治に行ったときの旅日記です。桐生の新宿村で水車を利用して絹を織る様子や忍山の様々な名産品など、当時の様子が詳細に記されており、これをもとに彦九郎の足跡を辿り、その旅を偲ぶ資料を展示しました。



展示の様子

# 大隅俊平美術館

## 第8回企画展 「刀匠大隅俊平と二人の鐔匠」 玉岡俊行、成木一成

●と き 平成28年4月29日（金）～7月10日（日）  
●入館者 1,033人  
今回の企画展では、刀装品である鐔について展示しました。日本刀の鐔とは刀を構えた時、刀身全体の重さの釣り合いを保つためのものであり、また自らの拳や籠手を護るために作られたものです。公益財団法人日本美術刀剣保存協会が主催する新作名刀展彫金の部の無鑑査鐔匠である玉岡俊行鐔匠、成木一成鐔匠の彫金作品6枚を、大隅俊平刀匠の太刀13口と併せて鑑賞していただきました。

### 展示作品説明会

●と き 平成28年5月15日（日）  
①午前11時～ ②午後2時～  
●講 師 小林 暉昌氏  
（元（財）日本美術刀剣保存協会常務理事）  
●参加者 29人



小林暉昌氏

第8回企画展  
古典を目指した  
刀匠大隅俊平と二人の鐔匠  
玉岡俊行  
成木一成

平成28年 4/29金 ▶ 7/10日  
開館時間/午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）  
休 日/月曜日（祝日の場合は翌日）  
入 館 料/300円（20名以上の団体は1人あたり240円、中学生以下は無料）

◎行事のお知らせ  
■鑑切実演  
日時/平成28年5月16日（日）  
13時～15時  
会場/大隅俊平美術館 2F  
内容/大隅俊平刀匠の太刀13口と併せて展示した玉岡俊行、成木一成の鐔匠の彫金作品6枚を、大隅俊平刀匠の太刀13口と併せて鑑賞していただきます。  
■花結び講座（梅結び）  
日時/平成28年6月11日（日）  
13時～15時  
会場/大隅俊平美術館 2F  
内容/梅結びの結び方を学び、自分自身の作品を作ります。  
■七夕飾り  
日時/平成28年7月10日（日）  
13時～15時  
会場/大隅俊平美術館 2F  
内容/七夕飾りの作り方を学び、自分自身の作品を作ります。

大隅俊平美術館  
0275-20-8855 <http://www.osamuji-museum.jp>

## 第9回企画展 「直刃の大隅」の乱れ刃

●と き 平成28年10月22日（土）  
～平成29年1月22日（日）  
●入館者 821人  
今回の企画展では、大隅俊平刀匠の極初期の作品で、刀匠の作品としては大変珍しい「乱れ刃」3口を中心に展示しました。「直刃の大隅」と賞賛された大隅刀匠が直刃の道を目指すようになったのは、刀匠が敬愛して指導を仰いだ日本刀研究家で財団法人日本美術刀剣保存協会会長などを務めた本間薫山先生との出会いによるものでした。今回展示した「乱れ刃」3口はどれもそれ以前の作品であり、「直刃」の作品11口を併せて展示し、それぞれの作刀時期の違いによる作風の変化を鑑賞していただきました。

### 展示作品説明会

●と き 平成28年11月6日（日）  
①午前11時～ ②午後2時～  
●講 師 高野 和也刀匠（大隅俊平刀匠弟子）  
●参加者 37人



高野和也刀匠

第9回企画展  
「直刃の大隅」の乱れ刃

平成28年 10月22日（土）～平成29年 1月22日（日）  
開館時間/午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）  
休 日/月曜日（祝日の場合は翌日）  
入 館 料/300円（20名以上の団体は1人あたり240円、中学生以下は無料）

◎行事のお知らせ  
■展示作品説明  
日時/平成28年11月6日（日）  
11時～13時  
会場/大隅俊平美術館 2F  
内容/大隅俊平刀匠の極初期の作品で、刀匠の作品としては大変珍しい「乱れ刃」3口を中心に展示した作品11口を併せて展示し、それぞれの作刀時期の違いによる作風の変化を鑑賞していただきます。  
■花結び講座（干支・酉）  
日時/平成28年11月15日（水）～20日（日）  
13時～15時  
会場/大隅俊平美術館 2F  
内容/酉の干支の結び方を学び、自分自身の作品を作ります。  
■玉柄巻装束実演  
日時/平成28年11月22日（日）  
13時～15時  
会場/大隅俊平美術館 2F  
内容/玉柄巻装束の着付け方を学び、自分自身の作品を作ります。

大隅俊平美術館  
0275-20-8855 <http://www.osamuji-museum.jp>



## 実 演

### 銘切実演

- と き 平成28年5月5日(木)  
①午前10時～ ②午後1時30分～
- 講 師 本田 正紀刀匠(大隅俊平弟子)
- 参加者 115人  
刀匠が自身の作品に銘を切るところを公開し、実演終了後には、真鍮プレートに子ども達の名前を切りプレゼントしました。

### 刀剣研磨実演

- と き 平成28年9月11日(日) 午後1時～
- 講 師 大西 伸夫研師
- 参加者 71人  
研師による刀剣研磨の様子を公開しました。

### 刀身やすりがけ実演

- と き 平成28年10月16日(日) ①午前11時～ ②午後2時～
- 講 師 本田 正紀刀匠(大隅俊平弟子)
- 参加者 36人  
焼入れ前の作業、刀身のやすりがけを公開しました。

### 王朝装束着装実演

- と き 平成29年1月22日(日) 午後1時～
- 講 師 (財)民族衣裳文化普及協会群馬県支部  
金井 美由紀氏
- モデル 平成28年度ミス八瀬川 佐久間葵さん、町田美早さん
- 参加者 47人  
十二単の着装の様子を鑑賞していただきました。実演終了後には、希望者に装束を羽織って体感していただきました。

### 作刀実演

- と き 平成29年3月12日(日) 午後1時～
- 講 師 高野 和也刀匠(大隅俊平弟子)
- 解 説 本田 正紀刀匠(大隅俊平弟子)
- 参加者 220人  
作刀工程の一部「玉鋼の打ちのばし～小割り」を刀匠の解説付きで実演し公開しました。



刀剣研磨実演



王朝装束着装実演



作刀実演

## 講 座

### 花結び講座

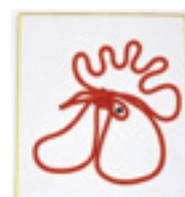
- ◆花結び講座「梅結び」
- と き 平成28年6月21日(火)～26日(日)
- 参加者 39人  
紐結びで梅の花を作りました。

- ◆花結び講座「干支・酉」
- と き 平成28年11月15日(火)～20日(日)
- 参加者 27人  
紐結びで来年の干支「酉」を作りました。

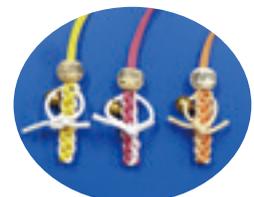
- ◆ワークショップ「結び遊び～こけしストラップ」
- と き 平成29年2月21日(火)～3月3日(金)
- 参加者 47人  
紐結びを応用してこけしストラップを作成しました。



花結び講座のようす



干支・酉



こけしストラップ



# 史跡金山城跡ガイダンス施設

## 体験学習

内容	月 日	回数	講師	参加者数
草木染教室Ⅰ	5/14・6/18・7/16・9/17・10/15	5回	板野千恵氏	50人
草木染教室Ⅱ	5/18・6/22・7/20・9/10	4回	職員	25人
寄せ植え教室	5/26・11/24	2回	宮森美奈子氏	26人
消しゴムはんこ作り教室	6/23	1回	松井悦子氏	12人
親子草木染教室	7/27・8/20	2回	職員	28人
金山合戦	8/6	1回	職員	54人
金山茶道教室	8/30・9/6・9/13・9/27・10/18・10/25・11/1・11/8・11/11・11/12	全10回	東毛茶道会	11人
篆刻体験教室	10/22	1回	龍舞篆会	10人
金山城跡を歩く	11/5	1回	職員	14人
繭玉細工講座	12/17	1回	板野千恵氏	12人
勾玉づくり体験教室	開館日随時受付		職員	452人
火起こし体験教室	開館日随時受付		職員	323人
石臼（粉挽き）体験	開館日随時受付		職員	74人



草木染教室



篆刻体験教室



寄せ植え教室（作品）



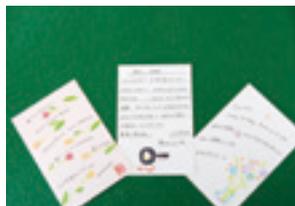
繭玉細工講座（作品）



金山合戦



金山茶道教室（おさらい会）



消しゴムはんこ（作品）



親子草木染教室（作品）

## 歴史講演会等

### 第18回金山歴史講演会

- と き 平成28年12月10日（土）
- 講 師 久保田 順一氏  
（群馬県文化財保護審議会専門委員）
- 演 題 新田義貞の子どもたち
- 参加者 74人



### 第19回金山歴史講演会

- と き 平成29年1月21日（土）
- 講 師 出居 博氏（佐野市教育委員会）
- 演 題 下野佐野・唐沢山城の歴史と新田・金山城
- 参加者 83人





## ギャラリー展示



太田市を通る日光例幣使道



金山城跡発掘調査展



篆刻展



埋蔵文化財最新情報展



空中写真でたどる太田市の発展

企画展名	期間	来場者
太田市を通る日光例幣使道	4月23日～6月26日	4,274人
金山城跡発掘調査展 「金山城と支城のくらし〜かわらけ・なべ〜」	7月16日～9月11日	5,940人
第5回篆刻展「徳川歴代将軍の印模刻展」	9月17日～11月6日	4,308人
埋蔵文化財最新情報展 「経石-石に託した人々の想い-」	12月20日～3月12日	4,226人
空中写真でたどる太田市の発展 昭和45年から平成6年までの激動の四半世紀	3月22日～4月16日	612人 ※3月末日現在

### ギャラリートーク

- とき 平成28年7月24日(日)・8月21日(日)
- 演題 金山城跡の発掘調査を語る
- 参加者 20人

金山城跡発掘調査展「金山城と支城のくらし〜かわらけ・なべ〜」の一環として、展示担当者が金山城などの調査で出土した遺物や文献などから、金山城の時代の「食」について展示解説を行いました。





## 文化振興事業 「金山城の魅力再発見！」

### 「昇太師匠と歩く金山城」

- ところ 史跡金山城跡
- とき 平成29年3月25日（土）  
午前9時20分から11時30分
- 参加者 40人



四阿での解説の様子

### 「昇太師匠とお城トーク」

- ところ 太田市社会教育総合センター
- とき 平成29年3月25日（土）  
午後1時30分から4時00分
- 参加者 407人



昇太師匠のサイン本抽選の様子

## トピックス！

### 忍城おもてなし甲冑隊と行く 甲斐姫の里帰りツアー 「上州太田・金山城へ参ります！」 開催される

埼玉県行田市にある忍城を拠点に活動する“忍城おもてなし甲冑隊”の主催事業として、平成28年11月26日（土）に甲斐姫が2人の家来と11人の参加者とともに、甲斐姫の祖母である妙印尼に会いに雪の残る金山城を訪れました。

金山城の時代から400年余の時を経て、金山城と忍城との関係に新たな時代の幕が切って落とされました。

